

第4回TICAD閣僚級フォローアップ会合の概要

1. 日程

2012年5月5日(木)～6日(金)

2. 開催地

モロッコ王国(マラケシュ) Palmeraie Golf Palace(パルムレ・ゴルフ・パレス)

3. 出席者

(1) TICAD共催者

日本政府、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行、アフリカ連合委員会(AUC)

(※)我が国からは、諸般の事情が許せば、玄葉大臣の出席を検討。

(2) アフリカ諸国、主要アフリカ地域機関、準地域機関

アフリカ諸国からは閣僚級(外務大臣又は開発担当大臣が中心)、機関からは機関の長

(3) 開発パートナー

主要先進国(G8を含む25か国及びEU)、アジア諸国(中、韓、印、ASEAN等14か国)、
国際機関(55機関)代表

(4) 経済界代表 (※)我が国経団連が参加予定。

(5) 市民社会代表

4. 議題

① 横浜行動計画の進捗状況

② 近年のアフリカの経済成長と課題

③ ミレニアム開発目標(MDGs)の達成と2015年以降(ポストMDGs)

④ 国内及び国境を越える課題への対応(平和の定着とグッドガバナンス及び気候変動)

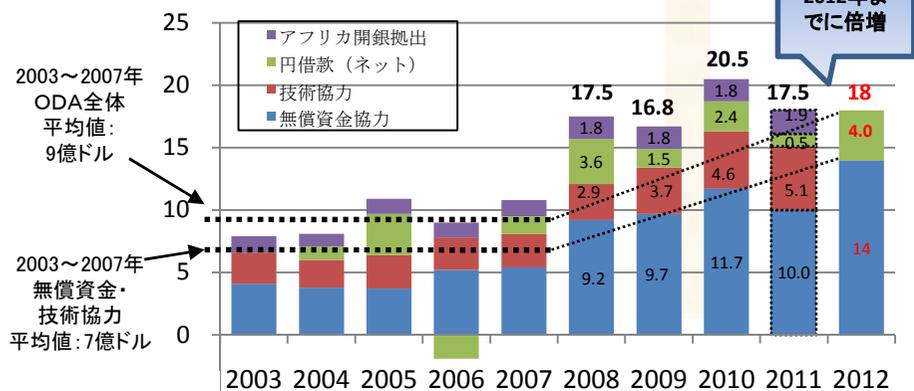
想定される成果(1)

TICAD IVの公約の進捗状況の評価

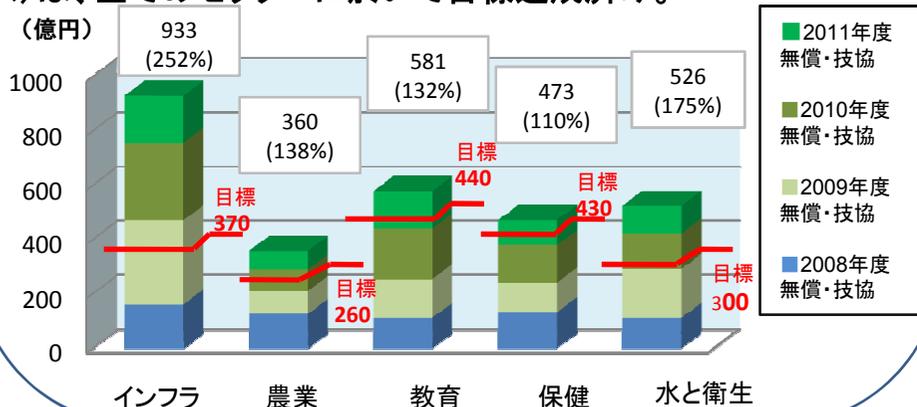
我が国がTICAD IVで発表した、「横浜行動計画」で公約したアフリカ支援策は着実に実施されており、アフリカ側から高い評価。

我が国の対アフリカODA倍増

★2011年のODA実績(暫定値)は、約17.5億ドルに達し、08年からの年間総額(08~11年)の平均値(約18.1億ドル)は倍増目標の18億ドルを上回っている。



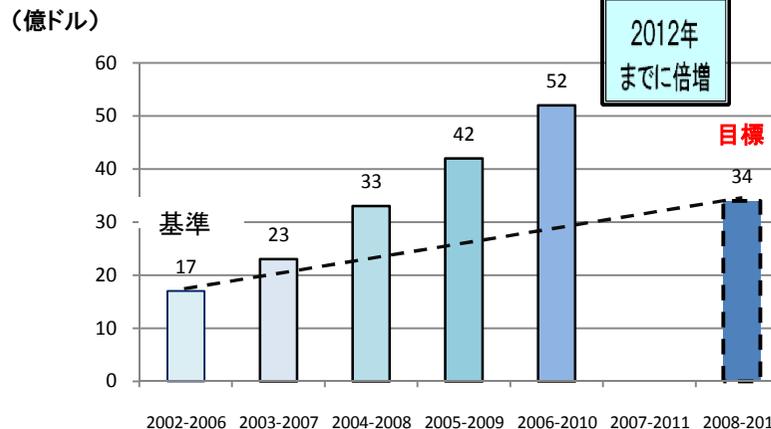
★セクター別に公約した無償・技術協力の金額(年度ベース)は、全てのセクターに於いて目標達成済み。



対アフリカ民間投資倍増支援

★2010年末時点の対アフリカ民間直接投資残高(5か年平均値)は約52億ドルとなり、現時点では、目標の34億ドルを上回っている。

★「25億ドル規模のJBIC融資」は約22億ドル(約88%)まで決定済み。



年(末)	2002-2006	2003-2007	2004-2008	2005-2009	2006-2010	2007-2011	2008-2012
投資残高(億米ドル)	17	23	33	42	52		34

想定される成果(2)

TICAD Vの方向性

TICAD Vを約1年後に控え、準備プロセスの実質的な出発点として、近年のアフリカを取り巻く課題を議論。TICAD Vで重視すべきテーマについて、参加者間で認識を共有。

【アフリカの現状】

援助の受入れ先だったアフリカは、今は重要な投資先として国際的に認知。

経済成長率: 2.2%(1990年代)→5.7%(2000年代)

アフリカ向け投資: 81億ドル(2000年)→400億ドル(2010年)

輸出: 毎年平均5.5%増加(2000年以降)

人口増加率: 平均2.3%(2005年-2010年、世界で最も高い増加率)

【各議題に関連する具体的テーマ】

近年のアフリカの 経済成長と課題

- インフラ整備
- 資源開発
- 食料安全保障/農業開発
- 民間セクター開発
- 官民パートナーシップ
- 貿易・投資
- 成長のための教育
- 南南/三角協力等

ミレニアム開発目標 (MDGs)の達成と2015年 以降(ポストMDGs)

- MDGsの進捗状況
- ポストMDGsのあり方
- 若年雇用創出
- 飢餓撲滅、保健アクセス等
- 防災
- 教育
- ジェンダー等

国内及び国境を越える 課題への対応 (平和の定着とグッドガバ ナンス及び気候変動)

- 紛争予防
- 平和維持・平和構築
- 復興開発
- グッドガバナンス
- 国境を超えた問題への取組(テロ、麻薬、小型武器等)
- 海賊問題への対処
- 気候変動問題への対処
- グリーン成長等